⑲ 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭62-284197

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和62年(1987)12月10日

F 28 F 1/30

D - 6748 - 3L

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

49発明の名称 熱交換器

> ②特 頤 昭61-127527

願 昭61(1986)6月2日 22出

木 戸 長 生 砂発 明 者 70発 明 者 米 田 浩 男 ⑫発 明 者

東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内 東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内 東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内

松下冷機株式会社 の出願 人

東大阪市高井田本通3丁目22番地

弁理士 中尾 敏男 外1名

1、発明の名称

砂代 理 人

熱交換器

2、特許請求の範囲

蛇行状に屈曲した偏平管と、前記偏平管の間に 波形状に重積したフィンとを備え、前記フィン表 面に前級部が気流と対向するスリット片を気流と 垂直方向で2列以上に分断して設け、かつ分断し て生じたスリット片の脚部が気流方向と傾斜を持 っていることを特徴とする熱交換器。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は空調機器や冷凍機器等に用いられる熱 交換器に関するものである。

従来の技術

近年、熱交換器の性能向上は目ざましいものが あり、空気側伝熱面積が大きいことを特徴とする 波型フィンを備えた熱交換器が自動車用を中心と してすでに実用化されている。

以下図面を参照しながら、上述した従来の熱交

換器について説明を行なり。

第4四は従来の熱交換器の概略形状を示し、第 5 図はそのフィン形状を示すものである。第4図 ~第5図にかいて、1は蛇行状に屈曲した偏平管 で直管部1をほぼ平行に備えている。2は偏平管 1 の向かい合う直管部 1/相互間に設けられたフィ ンで、波型状に一定間隔で偏平管1に固定されて いる。3はフィン2の表面に設けられたルーパ片 で、前縁部3aが気流Aと対向し、かつルーバ面 3 b が気流 A と傾斜を持って構成されている。

以上のように構成された熱交換器について、以 下その動作について説明する。

フィン2のフィン間を流れる気流 Aと偏平管1 .の管内を流れる熱媒体の間で、フィン2及び偏平 管1を介して熱交換が行なわれる。その際、フィ ン2の表面に設けられたルーパ片3により、フィ ン2の表面に生じる気流Aの温度境界層の発達が 分断されて温度境界層の平均厚さが薄くなる効果 と、フィン2の両面を流れる気流Aが前記ルーバ 片により混合されて乱される効果により、気流A

とフィン2の間で大きい熱伝達率を得ている。

発明が解決しようとする問題点

しかしながら上記のような構成では、ルーパ片 3による通風抵抗の増大が著しく大きいことと、 フィン2の表面に生じる気流Aの温度境界層が完全に分断されずに下流へ行くに従って厚くなり、 気Aとフィン2の間の熱伝達率が下流へ行く程低 下することとなり、特に気流A方向に長い熱交換 器の場合に極端に熱交換能力が低下するという問 題点を有していた。

本発明は上記問題点に鑑み、気流方向に長い熱 交換器においてもフィンと気流の間の熱伝達率が 低下せず、熱交換能力の大きい熱交換器を提供す るものである。

問題点を解決するための手段

上記問題点を解決するために本発明の熱交換器は、フィン表面に前線部が気流と対向するスリット片を気流と垂直方向で2列以上に分断して設け、かつ分断して生じたスリット片の脚部が気流方向と傾斜を持つという構成を備えたものである。

スリット片で、気流 B と垂直方向で2列に分断されると共に、分断して生じた脚部 5″が気流 B 方向と傾斜を持ち、かつ脚部 5″は気流 B 方向で蛇行状に配列されている。

以上のように構成された熱交換器について、以 下第1図及び第2図を用いてその動作を説明する。

フィン5のフィン間を流れる気流 Bと偏平管 4のでかれる熱媒体で、フィン6のではなかれる。その際が、スタックである。その際が、スタックである。のでは、スタックを流れる。スタックでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッかでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッのでは、スタッでは、ス

作 用

本発明は上記した構成によって、フィン安面に生じる気流の温度境界層をスリット片により分断して境界層前級効果を得ると共に、気流が即のるとなった気流が更に後列のスリット片に不同なが更に後列のスリット片に不同境界層を分断されるために、前記境界層を分断されるために、前記境界層を分断されるために、前記境界層を分断されるために、前記境界層を分断されるために、前記境界層を分断されるために、前記境界層を分断されるために、前記境界層を分断されるととなる。

実 施 例

以下本発明の一実施例の熱交換器について、図 面を参照しながら説明する。

第1図は本発明の一実施例における熱交換器のフィン形状を示すものである。第1図~第2図において、1は偏平管で、従来の構成と同じものである。4は偏平管1の向かい合う直管部1/相互間に設けられたフィンで、波形状に一定間隔で偏平管1に固定されている。5はフィン4の表面に前級部5/が気流B方向と垂直になるよう設けられた

以上のように本実施例によれば、フィン4表面に前級部5′が気流B方向と垂直なスリット片5を気流B方向と垂直方向で2列に分断して設けると共に、分断して生じた脚部5″を気流B方向と傾斜を持たせ、かつ脚部5″を気流B方向で蛇行状に配列するととにより、フィン4と気流Bの間の熱伝達率を極めて向上させ、特に気流B方向に長い熱交換器においても下流側へ行くにつれて熱伝達率を低さいても下流側へ行くにつれて熱伝達率を低させることができる。

尚、本実施例では脚部 6″を気流方向で蛇行状に 配列したが、第3図に示すように、脚部 5″は気流 B方向で交差形状に設けても良い。

発明の効果

以上のよりに本発明は、前縁部が気流と対向するスリット片を気流と垂直方向で2列以上に分断してフィン表面に設け、かつ分断して生じたスリット片の脚部を気流方向と傾斜を持たせることにより、フィンと気流の間の熱伝達率を向上させ、特に気流方向に長い熱交換器においても下流側へ

行くにつれて熱伝達率を低下させることなく、熱 交換能力の優れた熱交換器を得ることができる。

4、図面の簡単な説明

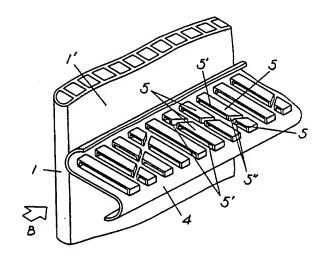
第1図は本発明の一実施例における熱交換器の フィン形状を示す要部斜視図、第2図は第1図の 要部断面図、第3図は本発明の他の実施例を示し 第2図に対応する要部断面図、第4図は従来の熱 交換器の斜視図、第6図は第4図のフィン形状を 示す要部斜視図である。

1 ……偏平管、1/……直管部、4 ……フィン、 5 ……スリット片、5 ……前級部、5 ……脚部。 代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

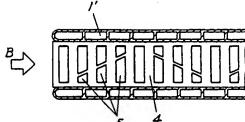
4 -- 7ィン 5 -- スリットガ 5'--- 前級部

グー 押部) --- 備平管

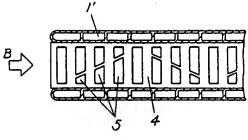
第 1 图

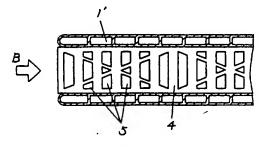


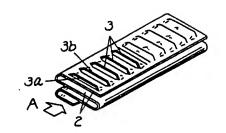
4 — プン 5 --- スリットガ - 直管部



第 2 図







PAT-NO:

JP362284197A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 62284197 A

TITLE:

HEAT EXCHANGER

PUBN-DATE:

December 10, 1987

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KIDO, OSAO

YONEDA, HIROSHI

AOYAMA, SHIGEO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MATSUSHITA REFRIG CO

N/A

APPL-NO:

JP61127527

APPL-DATE:

June 2, 1986

INT-CL (IPC): F28F001/30

US-CL-CURRENT: 165/146

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent lowering of thermal conductivity between a fin

air current even in a heat exchanger being long in an air current direction, by

a method wherein, slit pieces, each having a front edge part positioned

opposite to an air current, are formed in a parted state on a fin surface in

two or more rows in a vertical direction to an air current, and the leg part of

the slit piece is inclined based on an air current direction.

CONSTITUTION: Fins 4 are positioned between straight tube parts

positioned facing each other, of a flat tube 1, and are secured in a wavefrom

9/20/05, EAST Version: 2.0.1.4

manner at intervals of a specified distance to the flat tube 1. Slit piece 5

are formed on the fin 4 surface so that a front edge part 5' extends vertically

to an air flow B, and are parted in two or rows in a vertical direction to the

air flow B. A leg part 5", produced resulting from parting, is inclined based

on the air flow B direction, and the leg parts 5" are arranged in a mandering

manner in the air current B direction. When heat exchange takes place between

the air flow B and a heating medium flowing through the flat tube 1, the

temperature boundary layer of the air current B, formed on the fin 4 surface,

is parted by the slit pieces 5, the air flow B flows in a mandering manner on

the fin 4 surface by means of the leg parts 5", and a turbulence promoting

effect is produced occasioned by production of an eddy current by virtue of the

wake flow of the leg part 5".

COPYRIGHT: (C) 1987, JPO&Japio

9/20/05, EAST Version: 2.0.1.4